

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム社会主義共和国
2. 案件名	ハイフォン市における啓発型健診のための人材養成
3. 事業の背景と必要性	ベトナムでは急速な経済発展に伴い、欧米様式的生活習慣が浸透し、都市部においては肥満、糖尿病、高血圧などの生活習慣病が急増しており、生活習慣病への対策が急務である。同国は、東南アジア主要国の中で唯一、労働者に対する定期健康診断（定期健診）が義務化されるなど、政府の健康問題への意識は高いものの、雇用者側の保険料負担により定期健診を行う企業が半数程度である。また、医療費は前払いであり医療機関で受診できない労働者も多く、健診受診者が十分な医療サービスを受ける機会は限られている。さらに地域住民や労働者の生活習慣病に対する理解や予防意識の認知は十分に広まっておらず、健診結果の保健指導の効果が発揮されにくい。以上の現状を踏まえ、同国における生活習慣病の一次予防そして、地域住民のヘルスリテラシーの獲得が重要であり、弘前大学が開発・普及を進めている『啓発型健診』の導入が求められる。
4. プロジェクト目標	啓発型健診の社会実装に向けた人材が養成される
5. 対象地域	ハイフォン市
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	ハイフォン市疾病管理センター、ハイフォン市内の企業に勤務するベトナム人労働者
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>【アウトプット】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハイフォン市疾病管理センター用の啓発型健診マニュアルを作成する 2. ベトナム市民向けの啓発型健診理解セミナーを実施する 3. ベトナム・日本スタッフの共同で、ハイフォン市内の企業に勤務するベトナム人労働者に啓発型健診を実施する <p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1 ハイフォン市疾病管理センターの健診調査を行う 1-2 ハイフォン市疾病管理センター職員に対し、日本型啓発型健診理解のための研修を実施する 1-3 弘前大学の啓発型健診を見学し、ベトナム市民に適した啓発型健診プランを策定する 1-4 ベトナム仕様啓発型健診プランをマニュアルにまとめる 2-1 啓発型健診理解セミナー指導者を選出する 2-2 現地仕様の啓発型健診理解プログラムを策定する 2-3 セミナー実施に向けた指導者研修を実施する 2-4 啓発型健診理解セミナーを実施する 3-1 啓発型健診を、ハイフォン市内の企業で実施する 3-2 啓発型健診受診者に保健指導を行う 3-3 啓発型健診受診者へのアセスメントを実施する
8. 実施期間	2023年1月～ 2026年1月（3年）
9. 事業費概算額	9,435千円
10. 現地カウンターパート	ハイフォン市疾病管理センター
II. 実施団体の概要	
1. 提案団体名	弘前大学
2. 活動内容	弘前大学医学部がこれまで実施してきた大規模健診を含む短命県返上活動は、2013年に文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム(COI)」に採択され、弘前大学COIは産官学民が一体となり健康の維持・増進に向けた研究、啓発型健診や健康教育プログラムの開発等を実施している。成果として2019年に「第1回日本オープンイノベーション大賞内閣総理大臣賞」を受賞、その後「大賞・総務大臣賞」、「文部科学大臣賞」も受賞。2022年度にはNEXT-COIに採択され、「経済発展モデル」と「全世代アプローチ」でWell-beingな地域共創社会の実現を目指し、地域から世界の健康づくり（SDGs）への貢献に取り組んでいる。